



【学校目標】 **三心自立** 「学ぶ心」「思いやる心」「鍛える心」を磨き自立する

【目指す学校像】 21世紀型能力を育む「学び合う学校」

夢や志をもち Society5.0 を豊かにたくましく生きる生徒の育成

- ◆ 知識や情報を活用する能力 【学ぶ心】 (重点1)
- ◆ 多くの人とよりよい人間関係を築く能力 【思いやる心】 (重点2)
- ◆ 自立的に行動する能力 【鍛える心】 (重点3)

生徒の願い

○将来の目標に向かっ、充実した学校生活を送りたい。  
○互いに思いやり、良好な人間関係を築きたい。  
○学習に集中して取り組み、成績を伸ばしたい。



**重点1 「学ぶ心」(知)を磨く**  
「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体化を目指し、「自立した学習者」として学びを止めない生徒を育成します。

- ◎生徒の視点に立った授業改善・研修の充実により生徒の支援を明確にします。
- 授業アンケートによる実態把握
- 個別支援の取組
  - ・T T指導や補習
  - UD連絡会の充実
    - ・有識者からの助言、研修(聞く力や読む力等の育成に向け)
- ◎これまでの成果とICT機器の活用とのベストミックスによる効果的な「授業づくり」や「家庭学習」を行います。
- Google Workspace を活用した授業改善
- 個別最適な学びに向けて
  - ・単元内自由進度学習の取組
  - ・ドリル学習による基礎定着
  - Google Classroom による家庭学習
    - ・予習反転授業の実現
    - ・e-ライブラリーの活用

**重点2 「思いやる心」(徳)を磨く**  
絶対にいじめを許さず、あらゆる他者を価値ある存在として尊重できる生徒を育成します。(多様性を認める力)

- ◎自己肯定感を高め、自分も相手も大切にします。
- 「東中学校生徒会人権宣言」
- 「よかったカルタ」実施(保護者との協同学習)
- 平和学習(体験学習・平和のかけ)
- SNSの正しい使い方の取組
  - ・東三校・保護者との連携
- ◎ボランティア活動や福祉学習を進め、地域貢献活動が充実するようにします。
- 【ESD,SDG sの視点】
- JRC活動
- 生徒会ボランティア活動
- あいサポート運動
  - ・高齢者疑似体験・車イス体験 等
  - アズマフラワーガーデン
- ◎生徒、保護者の悩みに丁寧に向き合い、教育相談、保護者懇談を実施します。
- 年間2回の教育相談
- 保護者懇談会の実施
- 相談メール等を活用した教育相談
- SCによるカウンセリング

**重点3 「鍛える心」(体)を磨く**  
体験的な学習の積み重ねにより、持続可能な社会の創り手となることのできる生徒を育成します。

- ◎キャリア教育により将来への夢をもつことができるようにします。
- 【ESD,SDG sの視点】
- 職場見学・職場体験
- 講師を招いての進路学習
- ◎縦割り活動の充実を図り、鍛え学び合う場を増やします。
- 課題解決に向けた場面
  - ・異学年混成で取り組む全校総合
  - 東ミーティング等の話し合い活動
- ◎心や体を鍛える活動を実施します。
- 小さな学校の大きな合唱
  - ・明るく、美しいハーモニーが響く学校(合唱の充実)
- 食に関心をもち自分で健康管理ができる生徒(食育の充実:自作弁当の日)
- 全職員が同一歩調で指導にあたり、生徒と共に学びが成立する授業(授業の五原則を意識)

保護者地域の願い

○自分から学習に向かう生徒になってほしい。  
○開かれ学校づくりを進め情報提供を積極的に行ってほしい。  
○将来、地域を担う人材を育成してほしい。



学力向上プラン

- 1人1台端末の活用(GIGAスクール構想)
  - ◇Google classroom をプラットフォームにした教育活動
  - ◇「知識・技能」の評価のCBT化
- 学習評価の見直し(指導と評価の一体化)
  - ◇内容のまとめり毎の観点別評価
  - 生徒と教師の評価規準の共有
  - 学習内容の定着のための単元テスト

令和5年度 生徒会スローガン  
**シン・東**



令和5年度 研究テーマ  
**目的意識をもって、粘り強く取り組む生徒の育成**

自律的な学び～自律した学習者の育成

- ◇生徒自身が自ら目標をたて、自ら評価していく ◇「学び」の意識改革
- 生活をプランニングする「三心自立(生活ノート)」
- 単元内自由進度学習
- 繰り返し挑戦「単元テスト」
- 自主自学の時間
- 探究型「総合的な学習の時間」

教師の願い

・すぐに諦めない、自分で出来るところまでやり切る  
・答えを待つ姿ではなく、粘り強く自分で何とかしようとする  
・見通しをもって、自ら追究する  
・追究を止めず、疑問や関心をもって取り組む

信州型コミュニティスクール(学校運営委員会、学習支援ボランティア等)

- 学校運営委員会(年4回)や学校評価を通して、保護者、地域の声を聞いた学校運営
- 「斜面」の書き写しや要約、読み聞かせ、学習支援ボランティアによる学習支援の充実
- 職場見学・体験、地域体験講座、56災害学習など、地域の教育力を生かし、生徒支援
- 学校・学年だより、HP等を通して情報を発信し、社会に開かれた教育課程の実現

学びの改革パイオニア校(1年次)

- ICT活用のネットワーク拠点校
  - 小中連携(東三校:協力校)
  - 中中連携(市内4校)

学校評価

- 学校評価アンケート(生徒・保護者)・授業アンケート(生徒):【数値達成目標】肯定的な回答90%以上
- ベネッセ学力調査・全国学力学習状況調査:【数値達成目標】正答率前年度以上
- 学校運営委員会での地域の声の聞き取り
- 有識者による専門的な立場からの見識